

●バスサービス水準の格差、公共交通空白地域の存在

- ・ 駅圏域(駅 750m 圏内)とバス停圏域(バス停 300m 圏内)を見ると、津南町の各施設と集落をカバーした運行形態となっている。
- ・ 山間部は集落が広く分散しているため、バス停間隔が広く、走行延長が長い。
- ・ バスサービスの提供が行き届かない公共交通空白地域も存在する。(例：寺石、上田、大谷内、出浦、所平、大場等)

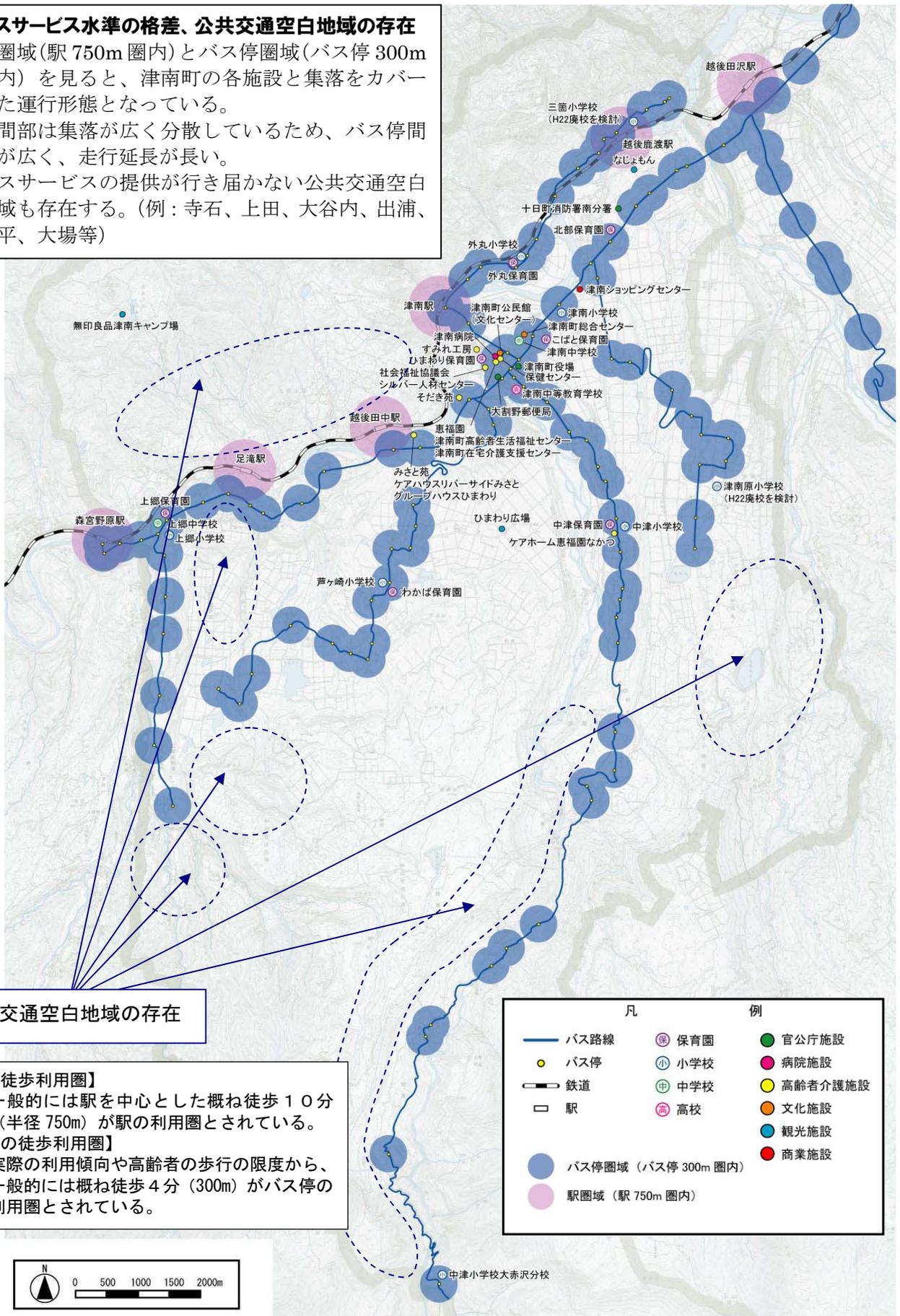


図 16 公共交通 (JR・路線バス) の利用圏域